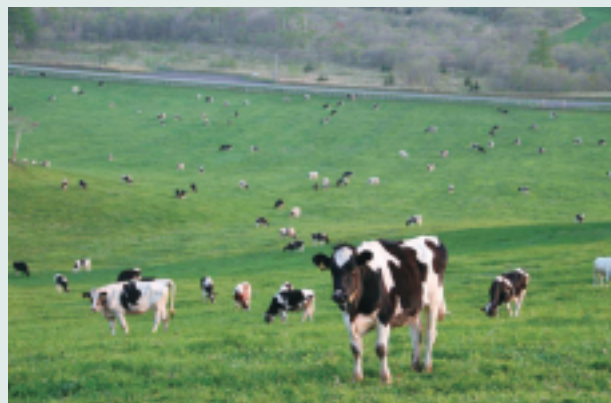




牧場風景（中標津町）

道経連会報 No.297

CONTENTS

巻頭言	1
第28回全国菓子大博覧会・北海道「あさひかわ菓子博2025」	2
新会員懇談会の開催	5
常任理事会レポート	6
委員会の動き	9
会員企業紹介	19
新会員企業紹介	21
グループ活動報告	23
北海道の経済動向	42
人事・労務相談日	45
道経連カレンダー	46
事務局人事	48
Face to Face	49
わがまち紹介（中標津町）	52



北海道経済連合会 常任理事

川村 智郷

北海道ガス株式会社
代表取締役社長

文化・スポーツ活動で街を元気に

北ガスグループでは、地域の特性を生かした分散型エネルギー社会の実現を目指し、地域が持つ資源を活かした持続可能なまちづくりに、各地域のみなさんと共に取り組んでいます。取り扱う事業の範囲は、天然ガスの有効活用や省エネの取り組みに限らず、太陽光発電や風力発電、あるいはバイオガス発電などの再生可能エネルギーの活用、森林の二酸化炭素吸収価値の活用に至ります。

当社が同時に力を入れているのが、スポーツ・文化・次世代教育を中心とした地域貢献活動です。地域の皆さんの元気・活力が私たち地域に根差す企業の成長と発展の源となりますし、ひいては、地域社会の価値や魅力の向上につながっていくものと考えています。

2025年1月には、北海道の芸術文化振興活動等への支援により、心豊かな地域社会を実現し、地域の持続的な発展に貢献することを目的に、「一般財団法人北ガス文化

財団」を設立いたしました。今後道内各地での芸術に触れてもらえる場の提供や、地域の子供たちを対象としたワークショップの開催など、広く芸術文化に親しんでいただく機会を創出したいと考えています。

また、これまでに、北ガスグループクラシックコンサートと題して、札幌交響楽団のフルオーケストラのコンサートを2回、当社が主催して開催しました。

私は決して音楽に造詣が深いわけではありませんが、第1回ではモーツァルトの「フィガロの結婚」やドヴォルジャークの「新世界より」、第2回ではチャイコフスキーの「『くるみ割り人形』より花のワルツ」といったお馴染みの曲もプログラムに組み込まれており、私自身も楽しんで聴かせていただきました。

コンサートは過去2回とも盛況に終わり、その意義を確信しているところです。会場からも「札幌のフルオーケストラのコンサートが1,000円で聴けるなんてとてもラッキーだった。毎年行きたい。」という声が聞こえており、嬉しく思っております。リピーターの方も多かったように見受けられました。今後も継続的に企画し、春の兆しを感じられる季節の札幌の風物詩にしていけたらと思っております。



北ガスグループクラシックコンサート

スポーツの面では、2018年に設立しました硬式野球部の取り組みが、各地域にもかなり根付いてきたと感じています。都市対抗野球大会等への出場だけではなく、地域貢献活動として特に力を入れているのが少年少女野球教室の取り組みです。当社エリアに限らず、道内主要都市で毎年開催しておりますが、楽しみにして下さっているチームも多いと聞いています。



北見市での野球教室の様子

私はよく自チームの試合を応援に行きますが、少年少女野球チームが応援エリアに集まって一緒に応援するような光景もしばしば見かけます。選手へも日ごろから単に試合に勝てば良いということではなく、社業や地域社会に貢献できる人材になってほしい、喜びと感動を共有できる存在となることを目指してほしい、と伝えていますが、その思いが具体的に形となって表れている瞬間だと、嬉しく思っております。

これからも様々な形で北海道を元気にし、可能性を広げられるような取り組みができるよう、挑戦を続けてまいります。